日本共産党

２０１５年３月議会　ダイジェスト版（詳細は右記ブログに掲載）

梅木かづこの議会報告

梅木かづこ　検索

@amago4293

梅木かづこ市議のブログ：
http://amagonosato.seesaa.net/
大洲民報や議会報告がご覧いただけます。

３月議会での、梅木かづこ市議の質問とその答弁です。

子育て支援について

少子化対策は全国で喫緊の課題として取り組まれています。人口減少に歯どめをかけるための子育て支援策を明らかにしてください。

【答弁】

保育所においては、平成２７年度から平日の開所時間の延長や保育料を引き下げを行うように考えている。幼稚園においても公立、私立ともに平成２６年度より低所得世帯及び多子世帯に対する保育料の負担軽減の拡大を行った。

また、公立幼稚園での３歳児保育、延長保育に取り組む。公立幼稚園の入園料の廃止及び施設型給付に移行する私立幼稚園の利用者負担を引き下げる。子ども医療費助成制度、ひとり親家庭医療費助成制度の２つの医療費助成制度を設け、子育て世代の経済的負担の軽減に努めている。経済的理由で就学が困難な児童・生徒に対し、給食費及び修学旅行費の実費分、また学用品費及び校外活動費の一部について補助をしている。また、幼稚園での３歳児保育や延長保育などにも取り組んでいく。しかしながら、小・中学生の通院費無料化は、市単独の拡充は財政的に大変厳しく、インフルエンザなどの任意の予防接種の助成も困難である。また、民間活力を積極的に活用することで、より迅速で柔軟に保育サービスの提供ができるものと考え、将来的には公立保育所の民営化について検討したい。

要望してきた幼稚園での３歳児保育が実施されます！

大洲市民病院の給食の民間委託などの問題について

① 公営企業法の全部適用になって3年、しっかりとした経営基盤を構築できたのでしょうか。患者サービスが向上したのか、その成果を明らかにしてください。

② 病院食の外部委託が検討されています。命を守るべき病院給食の民間委託は許されないと思いますが、いかがですか。病院給食に対する基本的認識を明らかにしてください。

③ 大洲市民病院での病児、病後保育や夜間保育がいわれていますが、職員だけが対象でしょうか。具体的な計画を明らかにしてください

【答弁】

① 収益的には前年並みぐらいであろうと考えている。対する費用は約９億円の特別損失が発生する。損益上は今年度は大幅な赤字決算になると考えている。患者サービスの向上としては、室空調の独立化や患者トイレの洋式化などの療養環境の改善を図った。また、患者様の声とそれを反映させるために、今年度院内に患者サポート委員会を立ち上げている。

② 病院食の外部委託は、経営の効率化のための具体的な取り組みとして、民間委託の活用など民間的経営手法の導入を促しているところ。民間移譲を視野に入れての取り組みではない。

③ 院内保育所設置の検討を平成２６年度から重ねており、現在のところ院内の敷地内に開設をし、２０名程度の定員を想定している。今後、開所日や保育時間など詳細なデザインを詰めていく中で、大洲市子ども・子育て支援事業計画を視野に入れながら、広く市民の皆さんを対象とした病児、病後児保育や夜間保育等の実施についても担当各課と連携を図りながら検討していきたい。

肱川河川整備計画について

トンネル洪水吐きが来年度にも完成するようにお聞きしています。肱川漁協に対して承諾を得ているのでしょうか。また、付け替え工事中の県道小田河辺大洲線での安全確保のための対応を求めてください

【答弁】

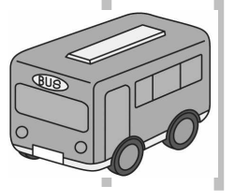
山鳥坂ダム工事事務所のホームページの中では、『鹿野川ダム改造事業においては法的に漁協の同意は必要ない』というふうに回答されている。現県道の部分拡幅や待避所の設置、また見通しの悪い箇所の立木の伐採や道路交差箇所への交通整理人の配置など実施している。工事関係者への地元車両優先など徹底した周知を図っていきたい。

地域公共交通について

河辺や長浜、肱川だけでなく、旧大洲市の新谷や若葉台、あすか団地などでも地域公共交通を求める声が上がっています。具体的な対応をお聞かせください。

【答弁】

スクールバスの有効活用の観点から住民利用を進め、効率的な運行を目指すこととしている。今年度は、肱川と河辺地域でスクールバスの実証運行を行い、来年度は、大洲と長浜地域においても実証運行を行う。なお、市の取り組み方針としては、まずは公共交通の空白地を優先してその解消に取り組んでいるところで、平野や新谷といった現在交通があるところについては、新たな公共交通というものを考えていくことは現段階では難しい。　必要に応じ、公共交通会議を開いて意見を聞いていきたい。



TPP交渉と農協の改革について

TPP交渉妥結にひた走る安倍政権は、日本の農業を、基幹産業を、地域経済を破壊するものです。大洲市の基幹産業の農林漁業を守る立場から市独自の施策と農協改革についての市長の見解と本市への具体的地域経済に与える影響を明らかにしてください。

【市長　答弁】

市が行っている独自の支援とし、対象とする作物を白菜、スイカ、キュウリ、トマト、里芋、カボチャの6品目に指定して、水田から畑作への転作、そしてその活性化を図っている。シイタケ生産振興としては、大洲市シイタケ生産振興協議会会員のうち、年間1万個枚以上の植菌を行うものに対し、1こま当たり2分の1以内を補助している。

農協改革については、国における議論の推移や、そして大洲市を含めたこの愛媛県の南予のような地域にどのような影響を与えるのか、十分注視しながら、また関係機関や市や町とも密接に連絡をとりながら、今後ともまた情報収集に努めてまいりたい。

介護保険について

第6期の介護保険計画でも保険料の引き上げがされる予定といいます。年金から天引きされる保険料に多くの皆さんが保険料あって介護なしだと言われています。実際、国民年金で入れる施設がどの程度あるのでしょうか。施設名を明らかにしてください。

【答弁】

とみす寮、かわかみ荘、希望ヶ丘荘、希望ヶ丘荘アネックスの4施設があり、約6割程度の方が国民年金支給額以下の利用料となっている。また、第5期介護保険事業計画における施設整備を行った施設は、認知症対応型共同生活介護3施設、特定施設入居者生活介護7施設、今後供用開始予定の地域密着型介護老人福祉施設の2施設です。

議会を終えて

梅木かづこ議員

３歳児の幼稚園での保育がはじまることになりました。さらに、保育料の引き下げもされました。大洲病院での病児保育等も検討されています。お母さんの声が実現することをうれしく思います。その一方で、小・中学生の通院費無料化は見送らました。また、保育所の民間委託が検討されていますが、大洲市が責任をもって行うべきです。少子化対策を本腰を入れて取り組む事と、若い世代の方々が生き甲斐をもって働く環境作りこそ必要だと強く思います。

地域公共交通の実証運行が行われます。みなさんの声を反映させましょう。

市職の臨時職員の待遇改善の予算措置が行われました。国に労働法制の見直しを求め、市職員の４割の非正規職員を正規職員として採用し、質を高め、市民の皆さんに安心できるサービス提供を求めていきます。消防団の手当の引き上げを２０１４年６月に求め、今回引き上げられました。

今回も介護保険料の大幅な引き上げがされました。財政調整基金は 30 億円余りあります。市民のために使わせましょう。

市民病院の給食の民間委託が検討されています。公営企業法の適用は民間の一里塚になります。市民のための病院にしなければいけません。

安倍政権いいなりの市政ではなく、市民の暮らしを守る街作りが求められます。安心して暮らせる街づくりのためにこれからも頑張ります。

【発行】日本共産党大洲市委員会
電話　0893-23-3271
0893-39-2915
2015 年 5 月